

平成25年度 地域協議会会長・事務局合同会 議事録

【日時】平成26年3月6日（木） 15時00分～17時00分

【場所】出雲市役所 3階 庁議室

I. 会議出席者（委員）名

【出雲地域】	【平田地域】	【佐田地域】	【多伎地域】
会 長 小川弘知	会 長 多久和祥司	会 長 岩崎郁夫	会 長 鳥屋尾 晋 副会長 石飛なす子
【湖陵地域】	【大社地域】	【斐川地域】	
副会長 今岡久美子 副会長 森山 陽治	会 長 入江紀久男	会 長 須田日出男	

II. 会議内容

1. 地域振興調整監あいさつ

2. 議題

(1) 地域協議会の評価、見直しに対する各地域の意見について

各地域協議会会長・副会長から各地域協議会でまとめた意見を報告

* 別添資料「地域自治区制度の評価結果について」に基づき説明

(2) 評価結果と今後のあり方に関する意見（まとめ）について

・各地域協議会からの「評価結果、今後のあり方などについて」を事務局がまとめた内容を説明

* 別添資料「各地域協議会の評価結果及び今後のあり方に関する意見（まとめ）」

・これまでの地域自治区制度の評価結果について本日の会議資料・議事録をもってまとめとすることが了承される。

(3) 意見交換（別添資料「意見交換のための論点整理」に基づき議論）

【論点1（地域協議会と自治協会等、コミセンとの役割の明確化）についての意見】

(出雲地域)

出雲地域は、当初から地域協議会自体を作ることが“どうか”という議論があった。自治協会とコミセンとの関係が先行しており、明確化している。

(平田地域)

平田地域は出雲地域と佐田・湖陵地域の中間的な質的内容の地域。平田地域全体で「これをやっていこうか」というものがなかなか見つからない。自治協会長会と地域協議会へ報告されたものとほぼ同じような内容のものがある。

(湖陵地域)

地域協議会、自治協会、コミセンは住民の立場に立っている組織であり、目指すところは一緒のため同じようになってしまうのは仕方がない。連絡調整を行いながら活動を行っ

ている。

(佐田地域)

佐田地域協議会は各振興協議会会長 13 名全員が委員になっている。そのため、地域協議会、自治協会の会議の区別がつきにくい状況がある。三者は色々なところで絡まっているため、区分けするのは難しい。お互いに連携しあってよりいいものが出来上がっていくのではないか。

(多伎地域)

地域協議会、連合自治会、コミセンははっきりと考え方を分けている。地域協議会は業界の代表が集まって全体を見ている。自治会は地域の自主的な組織であり、市に対して陳情もできる。コミセンは元が公民館であり生涯学習的な身近な活動を行っている。

(斐川地域)

合併の際、自治区制度がどういう考え方に基づいて導入されたのか。今の議論はこれから自治区制度を作っていこうとする議論になっている。理念としての「市民が主役、みんなが作るまちづくり」があり、「具体的に実施するのは市民の皆さんです」ということだったのか。

(自治振興課)

地域自治区は地方自治法に基づいて設置されている。合併に伴い、それまで地域の特性がなくなってしまう心配が背景にあり、それぞれの地域がまちづくりを主体的にやれるように法律で制度化されたものである。

設置から 10 年を迎え、「その理念と現状が若干乖離しているのではないか。今後それぞれの地域を担っていくうえでどのようにこの自治区を変えていったらいいのか」ということを議論して頂きたい。

(平田地域)

「意見反映の方法がどうあるべきか」と考えるのであれば、地域協議会に報告承認を求めて、「一応聞きました」という形で終わるのではなく、意見・要望に対し市からタイミングよく回答ができるように見直さないといけない。

また、行政当局として「現行の地域協議会制度についてどういう点で困っているのか」「今後、地域協議会にはどういう役割を求めていきたいのか」を聞きたい。

(自治振興課)

合併の時に目的を持って制度化したものが、本当に今どういう状況にあるのか評価しながら、「本当に機能しているのか」をまず検証し、「現在あるものをどうしていくか」を議論してほしい。

(自治振興課)

行政として何を期待するのは重要な点である。ただ、今日の段階で言うてしまうと議論が進まない部分もあり、まず、地域協議会の立場で「自分達はこういうことをしたい」「行政は仕組を変えろ」「予算をもっと確保しろ」などを出してもらい、ご意見を伺ったうえで、市としての一定の考え方、あるいは地域自治区の新しいあり方について提案させてほしい。

(出雲地域)

出雲地域は各地区の自治協会・コミセン、それぞれが地域課題について実践、活動しており、「地区のことはどうあるべきなのか」を行政に対して言っている。出雲地域にとっては、地域協議会は役割を終えたと思う。

(大社地域)

大社の大遷宮にあわせて一昨年からおもてなし活動を行っている。地域協議会は各組織の代表 19 人が集まっており、委員の中で相談しながら、これから、5 年、10 年賑わいが続くような仕掛けをしていきたい。

【論点 2 (地域まちづくり組織、地域まちづくり計画、活動費をどう取り扱うか) についての意見】

(斐川地域)

地域の事情、地域の判断によって、主体的に進めるべきであり、各地域の実情にあったやり方が必要である。

(大社支所)

元々、地域自治区制度は、市が作った制度。自治協会は住民の方が自ら作った団体である。明らかに、もともと違うものである。二つが分かりにくい、混合していることについて整理は可能である。市で設置した制度であり、市でまずは評価を出すべきではないか。

(斐川支所)

地域協議会はまちづくり計画を作り、市からの諮問機関の役割を果たしてきた。自治協会はコミセンとつながっている関係で認知度が上がってきている。地域協議会についてはなかなか皆さん方の理解が得られない状況がある。まちづくり計画について、これから実践していきたい中であり、各組織のすみ分けをしながらそれぞれがやるべきことをやりながら連携してやっていきたい。

(多伎地域)

活動費が使いにくい。団体補助の上限 1 / 2 がネックである。立ち上げ時には手持ち資金はないものだから、条件の緩和ができないのか。

地域のまちづくりとは何か。そのスケールには大小がある。市がつくる計画は、エリアやゾーンのくくりになっており地域のくくりになっていない。地域のくくりでの計画となってもいいのではないか。

(自治振興課)

自治協会、コミセンが成熟してきたため、合併当初のような不安感は薄まってきたのではないか。そのなかで地域のまちづくりをどうするのかに集約して活動している地域もある。

【今後のスケジュール説明についての意見】

(出雲地域)

地域協議会を設置しない地域があっても問題ないか。

(自治振興課)

全地域に配置するのが原則。ただ、全国的には全区域に設置していないところあり、条例の取扱いによって、設置しないことも可能であると解釈している。

(平田地域)

今日の会議内容が地域協議会に議事録の形で報告されるのか。見直し(案)の提案は会長会の場で提案されるのか、それとも事前に各地域協議会に送られ、各地域協議会で話し合いをする場を設ける機会があるのか。

(自治振興課)

議事録について要点をまとめたものは整理してフィードバックしたい。協議の手順は支所長と協議して進め方について詳細を詰めていく。

地域協議会会長・事務局合同会

日 時 : 平成26年3月6日(木) 15:00～

場 所 : 市役所3階 庁議室

1. 開会

2. あいさつ

3. 議題

地域自治区（地域協議会）制度の評価結果について

- ① 地域協議会の評価、見直しに対する各地域の意見について
- ② 評価結果と今後のあり方に関する意見（まとめ）について
- ③ 意見交換

4. その他

【メモ】

地域協議会会長・事務局合同会出席者名簿

(平成26年3月6日)

○ 地域協議会

地域		氏名			
出雲	会長	小	川	弘	知
平田	会長	多	久	和	祥
佐田	会長	岩	崎	郁	夫
多伎	会長	鳥	屋	尾	晋
	副会長	石	飛	な	す
湖陵	副会長	今	岡	久	美
	副会長	森	山	陽	治
大社	会長	入	江	紀	久
斐川	会長	須	田	日	出

○ 事務局

		氏名			
地域振興調整監		高	田	茂	明
平田支所	支所長	郷	原	良	明
	課長補佐	高	砂	俊	英
佐田支所	支所長	竹	下	達	己
	主任	曾	田	純	司
多伎支所	支所長	山	西	哲	郎
	主任	今	岡	麻	紀
湖陵支所	支所長	寺	本		稔
	主任	馬	庭	や	よ
大社支所	支所長	坂	本		隆
	課長補佐	林		俊	樹
斐川支所	支所長	錦	織		稔
	係長	加	納	和	明
総合政策部次長		石	田		武
自治振興課	課長補佐	柳	楽		誠
	係長	安	田	弘	和
	主任	三	島	寿	夫